

大楠

O a k s

58
2019
[令和元年]



図書館キャラクター「ひのと」

Contents

- ① 館長エッセイ
- ② Information
- ③ NEWS [図書館からのお知らせ]
- ⑤ Library Data



本の価値、図書館の価値とは…

突然ですが、私は保険論を専攻している。すでに絶版になっている保険論の名著を求めて、時々、インターネットの古書サイトを覗いたりしている。ある時、古書サイトで保険論の名著を見つけたのであるが、そのお値段、なんと500円！50,000円の間違いではないかと何度も見直したが、間違いなく500円だった。早速注文して、見事に500円で入手することができた。失礼ながら、その古書サイトの人には、その本の価値がわからなかったのだろう。

本の価値というのは読む人によって違うのであるから、ある人にとってはお宝でも、別の人にとっては猫に小判ということもある。そもそも本の価値とは、何かを学ぶためのものであったり、純粹に物語を楽しんだりするところに見出されるもので、その本が専門書であれ小説であれ、人生の糧になるものが愛読書となっていくのである。まだ愛読書に出会っていない人は、ぜひ図書館を散策してみてください。

愛読書と呼べる本に出会うと、不思議とその本は何度も繰り返して読むものである。私は高校～大学時代は推理小説にはまってしまい、今でも自宅の本棚を江戸川乱歩、横溝正史、森村誠一、高木彬光、コナン・ドイル、アガサ・クリスティ、ディクソン・カー、ヴァン・ダイン、ガストン・ルルーらが占拠している。もちろん、今でも時々、本棚にずらりと並んでいる本を眺めたり、パラパラめくったりしている。

最近、その手軽さからデジタル書籍が流行っており、本の形で持っている人は少なくなっているかもしれない。世代が違えばそれまでであるが、個人的には、やはり本の形で本棚に並べておきたいという気持ちもある。図書館の存在意義のひとつも「本棚の存在」にあると思われる。ぶらぶらと図書館の本棚を眺めて歩くのも楽しいもので、思わぬ発見があるかもしれない。このような効果をブラウジング(Browsing)というが、ブラウジングができることが図書館の大きな価値ともいえる。

…ところで、冒頭で述べた古書サイトであるが、そこには私が書いた本も紹介されていた。お値段なんと1,000円。先達に申し訳ない気持ちでいっぱいである。



林 裕

Hiroshi Hayashi

商学部教授、保険論専攻、熊本学園大学副学長。

著書／『保険の基礎知識』『家計保険論』『リスク社会における生活設計』『家計保険と消費者意識』『保険論講義』（いずれも税務経理協会より出版）など。

Oaksとは

本学の大江キャンパスの建物は、奈良飛鳥時代の古墳群の上に築かれていますが、この地を考古学では「大江青葉遺跡」と呼んでいます。

そのキャンパスには、創立当時から風雪に耐え我々を見守ってきた高さ20m、幹周り4～5mに達する県木でもある緑豊かな楠の大木が何本もあります。これら歴史ある地と天高く聳えた大楠のように、当館電算システムと学園の発展を願ってOaks(Oe Aoba Kumamoto Gakuen University Library Information System)と命名しました。

Information



タス
コミ十は、漫画をきっかけにして本にも興味・関心の輪を広げ、知識を深めていってほしいという願いからできた Manga Area です。図書館1階 メインカウンターの東側(12号館側)にありますので、ぜひご利用ください。

漫画の貸出は1週間になるひの



タス コミ十できました!!



漫画



麦ばあいの島
©古林海月/すいれん舎



銀の靴
©荒川弘/小学館



37.5°Cの涙
©椎名チカ/小学館



健康で文化的な最低限の生活
©柏木ハルコ/小学館



本



泣くな研修医
©中山祐次郎/幻冬舎



民王
©池井戸潤/文藝春秋



イザベラ・バードと日本の旅
©金坂清則/平凡社



学校では教えてくれない世界の政治
©コンデックス情報研究所/SBクリエイティブ



紅色のチョーク
©小松成美/幻冬舎

熊本学園大学が舞台！ 『僕が恋した図書館の幽霊』

熊本学園大学出身の著者・聖いつき(ペンネーム)さんが書かれた本が、図書館に入ってきました。タイトルは『僕が恋した図書館の幽霊』。学園大の学生を主人公とする恋愛ヒューマンドラマです。

「この大学で一番大きな教室がある十二号館前の幅広の外階段をとぼとぼと下りていた。」
(本文9ページより)

学園大が舞台となっていて、タイトルにもある図書館をはじめ、学食、サークル棟など、学園大生なら思わずニヤリしてしまう場所がたくさん登場します。どんな内容なのか気になる方、恋がしたい方、本が好きの方、みなさんぜひ手にとってみてください！



僕が恋した図書館の幽霊
(聖いつき、スターツ出版、2019)



十二号館前の幅広の外階段

1 気軽に雑誌

2018年12月6日(木)から2019年1月31日(木)に「気軽に雑誌」のラインナップを決めるリクエスト投票を行いました。

図書館でリフレッシュして欲しいと設けられた「気軽に雑誌」コーナーは、1階階段横のラックにあります。ファッション誌や映画・音楽雑誌などを中心に、気軽に楽しめるタイトルで、他の雑誌と同じく貸出は出来ませんが、館内であればどこでも閲覧できます。

購入する雑誌は定期的に見直し、学生のリクエストを反映してきましたが、前回の見直しから3年経ったので、現在のニーズを探るべく投票を行いました。図書館利用者全員を対象を広げてリクエスト投票を実施した結果、5つの雑誌が加まりました。(写真参照)

インターネットや電子媒体に移行したり、休刊になったりする雑誌も多いですが、紙媒体での読みやすさや気軽さ、企画の面白さで勝負している雑誌も沢山あります。大学図書館という固い印象を持たれがちですが、勉強や授業の合間にでもぜひ気軽に図書館へ来てください。



2 学びのダンジョンを探索しよう! 図書館新入生ガイダンス

新入生ガイダンスは、学生に大学図書館の機能とサービスを理解してもらい、今後4年間の学習活動に図書館を有効利用してもらうための基礎的な支援として、昭和60年から実施しています。

今年も、全体プレゼンテーションで図書館の概要を紹介し、「ライブラリーハンター」と称した問題を解きつつ館内散策をしてもらう、新入生が楽しめる参加・体験型のガイダンスを開催しました。ガイダンスを通じて図書館の施設とサービス、図書館員による支援の存在を知ることにより、図書館を利用しようという意識の芽生えを促すことにつながっていれば嬉しいです。



実施期間: 4月15日(月)~6月5日(水)
対象者: 基礎演習・基礎科目履修の1年生
実施回数: 25回



所要時間: 90分(授業時間)
内容: ・図書館の概要説明 ・館内散策(問題の解答)
・地下書庫見学 ・データベース紹介



3 熊本国府高等学校インターンシップ

7月10日(水)~12日(金)までの3日間、インターンシップとして、図書館業務を学ぶ就業体験を行いました。初日には本学図書館の歴史をはじめ、雑誌や図書の受け入れ・装備を経験し、図書を購入してから図書館の棚に配架されるまでを学び、メインカウンターでは、図書の貸出・返却、図書の配架作業を体験しました。また、自分が好きな映画、大学生に見て欲しい映画を選んでポップを書いたり、学生コンシェルジュと共に図書館で行われる授業の準備や大学生のお悩みや相談事に答える「ひとことカード」にお返事を書いたりするなど、企画展示も経験してもらいました。みなさんの絵の上手さや斬新な回答に大学生も興味を持って立ち止まる姿がたくさん見られました。みなさん真剣に取り組んでいて勉強になったと思います。この経験が将来の役に立ちますようにと願っています。これからも頑張ってください。



4 明治150年 明治の歩みをつなぐ、伝える

2018年は明治元年(1868年)から満150年となる記念の年ということで、政府が主体となって「明治150年」に関する様々な取組が進められ、その一環として、「明治150年」にちなんだイベントが多く、多くの団体で企画・実施されました。

本学図書館では、2018年10月17日(水)～11月30日(金)まで「明治150年～図書館で幕末・明治をふりかえる」という企画展示を行いました。明治時代の文化や偉人についての本や資料に触れることで、激動の時代の流れと、その中を生き抜く人々のアツイ想いを感じていただけたのではないかと思います。



5 学生懸賞論文 2018年度審査結果・表彰式

2018年度は8篇の力作がそろいました。論文としての体裁を重視した一次審査、内容に踏み込んだ専門委員による二次審査という厳しい審査を経て、次のとおりの結果となりました。表彰式は2019年1月23日(水) 15時からラーニング・commonsで行われました。



《入 選》 1篇	
甲斐 論子 (第二部社会福祉学科 3年)	朝鮮引揚体験の継承と断絶 —沢田家の「語りたくない」記憶を事例として—
《佳 作》 5篇	
赤池 藍 (経営学科 3年)	日本の服飾業界が直面する課題をどう解決するか
芝生 梨奈 (経営学科 3年) (共同執筆 他3名)	復興の経営学 ～熊本地震における鶴屋百貨店の事例～
矢津田 好実 (経済学科 4年)	逆求人へのマッチングモデル
若杉 伶奈 (英米学科 3年)	“Roger Malvin's Burial” における Reuben Bourne の罪悪感という「呪い」の帰着
本山 麻由美 (英米学科 4年)	多文化共生社会化への問題提起 —不思議の国と鏡の国におけるアリスの社会的受容の比較—

(学年は2018年度当時)



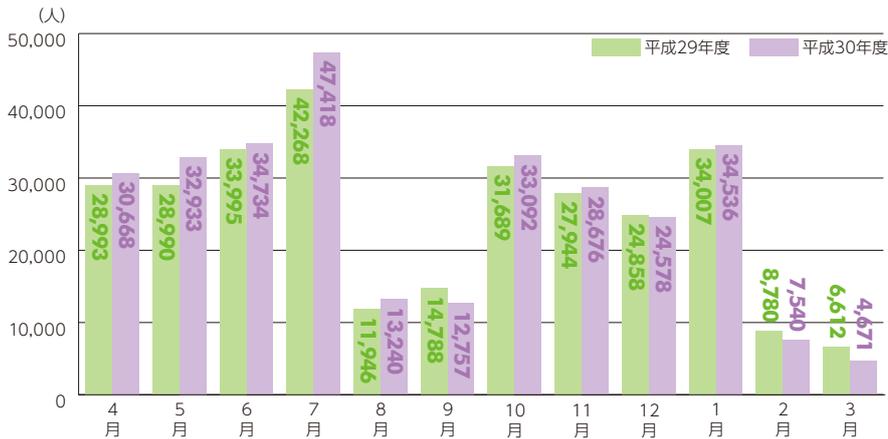
2019年度募集と説明会開催

今年度も応募に関する説明会を2019年7月24日(水) ラーニング・commonsにて行い、図書館職員が文献検索方法や引用について説明しました。結果については次号の図書館報をお待ちいただくか、図書館HPをご覧ください。

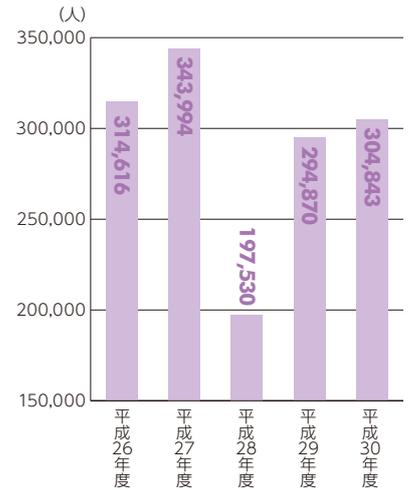


入館者数統計

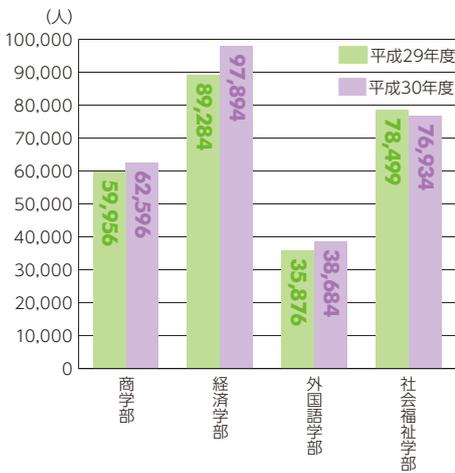
月別入館者数



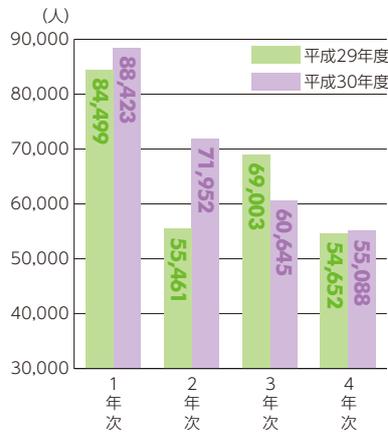
入館者数(過去5年間比較)



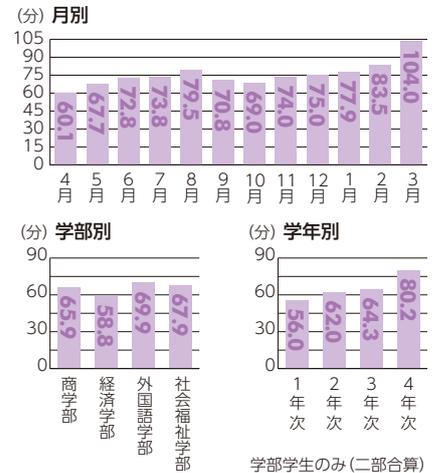
学部別入館者数



学年別入館者数



平均滞在時間



受入統計

平成30年度			
	洋書	和書	合計冊数
購入	626	10,108	10,734
寄贈	7	237	244
合計	633	10,345	10,978

ラーニング・commons利用統計

平成30年度		※事前に利用申込を受けた分
内容	利用回数	
授業等	52	
講座・講習会等	5	
学生企画	10	
図書館企画	5	
その他	12	
合計	84	

ILL依頼・受付件数

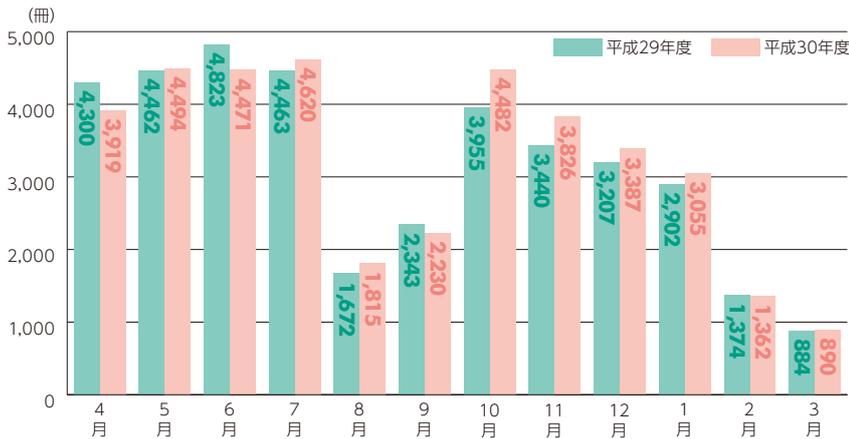
平成30年度		
		件数
依頼	複写	495
	貸借	206
受付	複写	638
	貸借	138

冊数統計

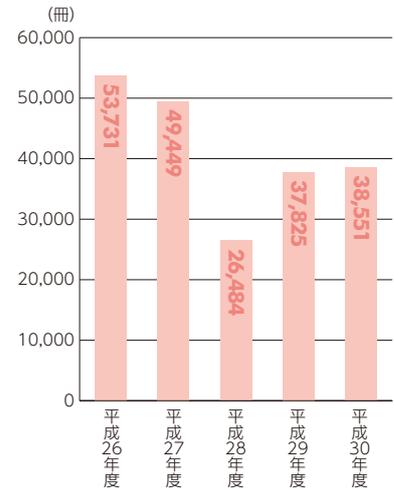
平成30年度
利用統計

貸出冊数統計

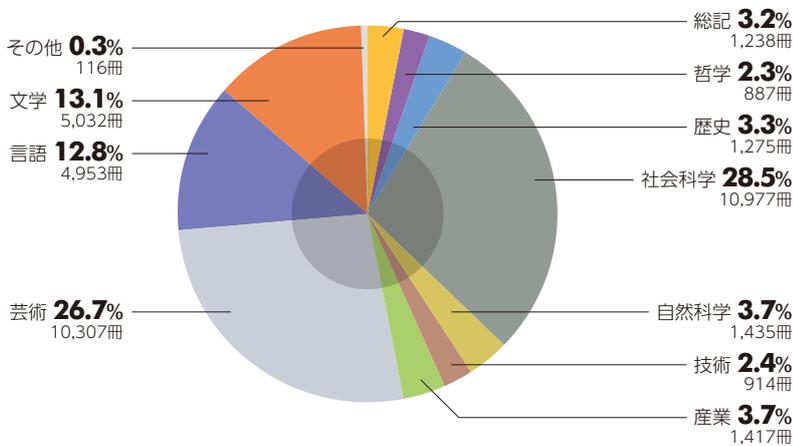
月別貸出冊数



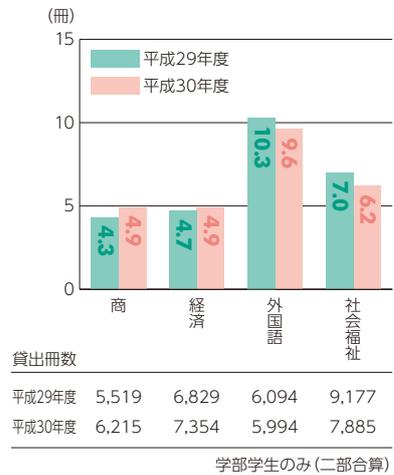
貸出冊数 (過去5年間比較)



分野別貸出冊数 平成30年度



学部別一人あたりの貸出冊数



データベース利用統計

平成30年度(件数)	件数
日経テレコン21	118,715
eol	12,741
MAGASINEPLUS	769
CiNii機関定額制	23,956
LEX/DB	1,683
EBSCOhost	2,998

AVコーナー利用状況 (過去5年間比較)

	人数
平成26年度	14,986
平成27年度	14,717
平成28年度	10,565
平成29年度	12,211
平成30年度	12,465

統計より Statistics

平成30年度の「学年別滞在時間」を見ると、学年が上がるにつれて、図書館の利用時間がどんどん長くなっていることが分かります。「滞在型」図書館としての利用方法が浸透していった結果でしょうか。今後は、学年が上がるにつれて、入館者数も滞在時間もどちらとも伸びていくように工夫を凝らしたいと思います。



Library Diary

図書館日誌

2018年10月～2019年10月まで

図書館行事

- 10月7日・休館(体育の日の振替休日)
- 10月8日・体育の日 通常授業に伴う開館
- 10月31日・図書館委員会
- 11月3日・休館(文化の日)
- 11月23日・勤労感謝の日 通常授業に伴う開館
- 11月25日・休館(推薦入試)
- 12月12日・図書館委員会
- 12月24日・休館(天皇誕生日の振替休日)
- 12月26日～1月4日・休館(年末年始休業)
- 1月14日・休館(成人の日)
- 1月19日～1月20日・休館(大学入試センター試験)
- 1月23日・学生懸賞論文表彰式
- 2月4日～3月23日・春休み長期貸出
- 2月7日～2月9日・休館(一般入試)
- 2月11日・休館(建国記念の日)
- 3月6日・休館(一般入試)
- 3月14日・図書館委員会
- 3月21日・休館(春分の日)
- 3月22日・学位記授与式
- 3月29日・休館(年度末処理)
- 4月3日・入学式
- 4月10日・図書館委員会
- 4月15日～6月10日・新入生ガイダンス
- 4月29日・休館(昭和の日)
- 4月30日・休館(国民の休日)
- 5月1日・休館(祝日)
- 5月2日・休館(国民の休日)
- 5月3日・休館(憲法記念日)
- 5月4日・休館(みどりの日)
- 5月5日・休館(こどもの日)
- 5月6日・振替休日 通常授業に伴う開館
- 5月30日・休館(創立記念日)
- 6月13日・図書館委員会
- 7月24日・学生懸賞論文説明会
- 7月14日・休館(海の日)の振替
- 7月15日・海の日 通常授業に伴う開館
- 8月5日～9月12日・夏休みの長期貸出
- 8月10日～8月18日・休館(夏期一斉休業)
- 9月11日・休館(一般職員研修会)
- 9月16日・休館(敬老の日)
- 9月23日・休館(秋分の日)
- 10月13日・休館(体育の日の振替休日)
- 10月14日・体育の日 通常授業に伴う開館
- 10月22日・休館(即位礼正殿の儀の行われる日)
- 10月27日・休館(AO入試)
- 10月30日・図書館委員会

見学者・団体

- 10月10日・熊本国府高等学校(141名)
- 10月26日・熊本信愛女学院高等学校(57名)
- 11月7日・五ヶ瀬町立小学校(28名)
- 11月7日・対馬市立佐須中学校(18名)
- 11月9日・熊本県立玉名工業高等学校(6名)
- 11月15日・熊本県立高森高等学校(24名)
- 11月22日・佐賀県立鳥栖商業高等学校(PTA)(52名)
- 12月13日・熊本県立熊本商業高等学校(23名)
- 1月31日・宮崎県立宮崎南高等学校(42名)
- 2月21日・熊本県立菊池高等学校(42名)
- 3月8日・開新高等学校(77名)
- 3月13日・熊本県立高森高等学校(30名)
- 3月13日・熊本県立天草高等学校倉岳校(18名)
- 3月13日・熊本県立球磨中央高等学校(44名)
- 3月13日・熊本県立御船高等学校(41名)
- 5月25日・熊本県立翔陽高等学校(PTA)(13名)
- 6月13日・宮崎県立高千穂高等学校(28名)
- 6月19日・熊本中央高等学校(26名)
- 6月24日・熊本市立井井中学校(35名)
- 6月25日・熊本県立西高等学校(PTA)(41名)
- 7月4日・くまもと清陵高等学校(10名)
- 7月10日・熊本国府高等学校(160名)
- 7月16日・鹿児島高等学校(PTA)(41名)
- 7月17日・熊本県立熊本商業高等学校(56名)
- 7月18日・熊本県立湧心館高等学校(PTA)(19名)
- 7月22日・宮崎県立都城西高等学校(10名)
- 7月23日・大分県立大分南高等学校(84名)
- 7月25日・熊本県立八代工業高等学校(17名)
- 8月28日・大分県立杵築高等学校(PTA)(33名)
- 9月10日・熊本県立西高等学校(132名)
- 9月12日・熊本県立西高等学校(142名)
- 9月25日・福岡県立玄洋高等学校(42名)
- 10月9日・熊本県立松橋高等学校(PTA)(15名)
- 10月9日・熊本国府高等学校(161名)
- 10月25日・熊本信愛女学院高等学校(78名)

